

JICA 横浜 海外移住資料館

館報

平成 23 年度



はじめに

JICA 横浜 海外移住資料館は、海外移住者を新天地で新たな文明形成に参加した、いわば「国際協力の先駆者」と捉え、資料、文献、写真等の展示をとおして彼らの歩んだ道を日本人の歴史の中に位置づけ、これを広く知っていただくことを目指しています。平成 23 年度は、3 月 11 日に起きた東日本大震災という未曾有の出来事を経た年となりましたが、30,231 名の入館者を得ることができ、平成 14 年 10 月の開館以来の来館者は累計 265,841 名になりました

東日本大震災に際しては、海外日系社会の皆様から暖かく、かつ大規模で迅速な支援が寄せられました。当館としてはこれを幅広く日本の皆様にお伝えする使命を強く認識し、館の入口や館内、また JICA 横浜 2 階の JICA プラザよこはまに展示物を配置するとともに、広報誌である「海外移住資料館だより」の特集号を発行し、あらゆる機会を捉えて紹介に努めました。JICA 横浜と横浜市立大学が協力して開講している連携講座でもこの特集号を学生に配布し、日系社会から寄せられた様々な支援について説明をしました。

例えばパラグアイからの「豆腐 100 万丁支援」というプロジェクトがありました。被災地にボランティアとして入っていた学生からは「私も気仙沼でこのパッケージの豆腐をいただきました、美味しかったです、背景は知りませんでした」という感想が、またこの夏ハワイへ行ったという学生からは「『ALOHA FOR JAPAN』という看板は見かけたが、東日本大震災への支援だとは気がつかなかったし、多額の寄付（主催者発表によると 800 万ドルを超えたとのこと）であったことも知らなかった」との声がありました。このような形で少しずつでも日本社会、特に若い世代に理解が浸透し、海外日系社会の思いを受け止めて下さる方々が増えていくことを目指したいと考えています。

また 12 月には太平洋戦争開戦から 70 年目であることを意識して、8 月に NHK で放送された「渡辺謙アメリカに行く 9.11 テロと戦った日系人」という番組のディレクター小山氏を招いた公開講座を、初の試みとして平日夜に開催しました。参加者の中には 20 代後半から 30 代と思われる方々の姿もあり、小山ディレクターの語った、強制収容の経験を経て、差別のない社会を目指して妥協することのないノーマン・ミネタ氏の毅然とした姿勢を幅広い世代にお伝えすることが出来たのではないかと思います。

当資料館は今年で開館 10 周年を迎えます。これからも引き続き幅広く一般の方々に、日本人の海外移住の歴史と海外日系社会のことを知っていただけるよう努めるとともに、所蔵資料の有効活用や他の資料館・博物館との連携促進などの業務に、総合的に取り組んでいきたいと考えております。皆様の一層のご指導、ご鞭撻、またご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012（平成 24）年 6 月

独立行政法人国際協力機構

横浜国際センター所長

海外移住資料館館長

吉浦 伸二

目 次

1.	展示イベント等	1
2.	情報システム	7
3.	資料等情報整備	9
4.	教育普及活動	10
5.	広報活動	16
6.	運営委員会及び学術委員会	18
7.	アンケート調査	21
8.	各種実績等	22

1. 展示イベント等

特別展示1 HAWAIIAN DREAM 日系二世のリビングルームから～南信司写真展

期間：7月1日（金）～8月28日（日）

主催：JICA 横浜 海外移住資料館

付帯イベント：ギャラリートーク（南信司氏） 7月23日、24日

開催期間中入館者数：4,535名

概要：写真家南信司氏がプライベート・ワークで6年間に亘って撮り貯めた、ハワイの日系二世を主題にした写真展を開催。ルーツである一世から伝承された日本文化は、様々な文化とミックスされながら今も南国で息づいている。これらの作品から、日系人の家族の絆というものの強さと優しさが垣間見られる展示となった。



展示の様子



ギャラリートークの様子

特別展示2 望郷～夢見るたくわん 広告に見る「タクワン貿易」と日本文化

期間：9月9日（金）～11月6日（日）

主催：JICA 横浜 海外移住資料館

開催期間中入館者数：8,068名

概要：「タクワン貿易」とは、単に「たくわんが海外に輸出された」ということではなく、北米に渡った日本人移民が、醤油や味噌などの食品を始め、ふるさとの様々な品を日本から輸入した事業のことを意味する。本展示では、100年以上も前にはじまり、移民をとおして日本食文化を新世界に広めるきっかけを作ったタクワン貿易の歴史を、当時の新聞広告や缶詰ラベル、日系商店などの資料から紹介した。





展示の様子

特別展示3 「南米日本人移住地今昔 ～1964 から現在～」

期間：3月16日（金）～5月13日（日）

主催：JICA 横浜 海外移住資料館

付帯イベント：日系農園で作られたコーヒー試飲会（3月25日）

開催期間中入館者数：1,751名（平成24年3月31日現在）

概要：海外移住事業団が1964年に発行した写真集『中南米移住地記録写真集 1964』に収録された写真から、移住先国の当時の様子を紹介した。当時の貴重な写真を、発展した現在の様子も紹介しながら展示。ブラジル・アマゾン地域の当時を知る方のインタビュー映像も上映した。3月25日には、ブラジル日系農園で作られたコーヒーの試飲会を開催。（4月29日、5月4日、6日も開催予定）。また、特別展示開催にあたり、展示されている写真の絵はがきを作成し販売している。



展示の様子

イベント1 海外移住の日特別企画「笠戸丸移民 100 年の証言」上映会

実施日：6月18日（土）、6月19日（日）

講師：野崎文男氏

概要：当資料館では、「海外移住の日（6月18日）」に合わせ、2010年に完成したドキュメンタリービデオ「笠戸丸移民 100 年の証言」を上映。当日は制作者の野崎文男さんに現地日系人の活躍について、講演いただくとともに、上映会スペースでは、ブラジル移住の歴史パネルを展示。

作品概要：「笠戸丸移民 100 年の証言」

笠戸丸移民の子孫 24 家族の取材を敢行。その証言を元に、第二次大戦前の日本で移民が奨励された時代背景からブラジルでの初期の移民の生活、現在の日系人の肖像までを当時の資料映像を交えながら描いたドキュメンタリー（企画・製作：FDP 記録映画製作所/株式会社ビオルグ、2010 年・47 分）



入場者数：6月18日：48名、6月19日：25名

イベント2 ミュージアム・クイズラリーよこはま 2011

実施期間：7月16日（土）～8月31日（水）

概要：当資料館を含む横浜・みなとみらい地区周辺の 16 の博物館が開催する「ミュージアム・クイズラリーよこはま 2011」。毎年夏休み期間中に開催されており、本年度も実施した。

参加者数：279 名

イベント3 「かながわ子ども・子育て支援月間 紙芝居・カルタで遊ぼう！」

実施日：8月7日（日）・28日（日） 10：00～16：00

概要：神奈川県保健福祉局が実施する「かながわ子ども・子育て支援月間」の一環として実施。紙芝居、移民カルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。今回は、参加児童生徒に対し、当資料館バッジをプレゼントした。



参加者数：57 名（うち子ども 28 名）

イベント4 「子どもアドベンチャー2010 かるたで遊んでタイムスリップ！」

実施日：8月17日（水）・18日（木） 10：00～16：00

概要：横浜市教育委員会の実施する「子どもアドベンチャー」の一環として開催。移民カ

ルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。本イベントにおいても、参加児童生徒に対し、当資料館バッジをプレゼントした。

参加者数：77名（うち子ども46名）

イベント5 スタジオジブリ作品「コクリコ坂から」の時代を見る 昭和30年代—海外移住者送出の時代 映像上映会

実施期間：7月16日（土）～8月27日（土）10:30～16:30（1日4回上映）

概要：スタジオジブリ作品「コクリコ坂から」の公開を記念し、当資料館のミュージアム連携企画として映像上映会を開催。「コクリコ坂から」の時代設定となる昭和30年代とは、まさに海外移住者送出の時代でもあり、「コクリコ坂から」の舞台である横浜は、多くの移住者が海外の新天地へ旅立っていった土地でもあった。今回の上映会では、日本海外協会連合会が昭和37（1962）年に制作した、二本の映像を上映。

上映映像：「海外への道」 日本海外協会連合会制作 1962年 30分

「南米の新天地」 日本海外協会連合会制作 1962年 51分

イベント6 「中南米横浜書道展」

実施期間：9月15日（木）～10月16日（日）

会場：JICA横浜1階 展示スペース

概要：中南米諸国で書道を学ぶ人々を対象に、日本で書の学習成果を発表する機会を提供し、日本語学習の意欲向上につなげることを目的とした書道展開催（主催：中南米書道展開催事務局）にあたり、出品作品の取りまとめ、資材提供、展示準備・撤収、ホームページ作成等の支援業務を行った。



イベント7 宝島ハロウィン2011 キッズ ハロウィン・ラリー

実施日：10月30日（日）11:00～15:00

概要：みなとみらい・新港地区で開催された第4回宝島ハロウィンラリーに参加。常設展示室内にラリーポイントを設置し、仮装をして来館した子どもを対象にお菓子を配布。なお、配布したお菓子「アグロフォレストリーチョコ」は、株式会社明治製菓より無償提供いただいた。ラリーポイントでは、ブラジル・トメアスー地区のアグロフォレストリーの取り組みを紹介する映像を上映し、併せて説明パンフレットを製作。「アグロフォレストリー」に関する情報（森を作る農業の環境負荷の低さや、ブラジル農業への日系農家の貢献など）を伝え、その魅力を紹介した。

当日来館者数：1,528名

イベント8 南の島のクリスマス

実施日：12月18日（日）10:00～16:00

概要：本イベントは、高校生以下の児童・生徒を対象に、「南米ではクリスマスをどんなふうに祝うのでしょうか」「子どもたちはどんな遊びをしているのかな」「南米の歌やゲームを教えてください」などのテーマで開催。移民カルタを使った宝探しゲームのあと、参加児童・生徒に対し、南米各国の様子や、歌や踊り、遊びを紹介。このイベントでは、JICA 日系研修で来日している南米各国の日本語教師に協力いただいた。



参加者には、南米各国の小物（これまで、JICA 日系研修員からお土産としていただいていたもの）をプレゼントした。

当日来館者数：376名

イベント9 開館1周年記念特別講演会「日本人と新世界」ダイジェスト版上映

実施期間：2月1日（水）～2月23日（木）

会場：海外移住資料館 企画展示室

概要：日本科学未来館が実施した企画展「ウメサオタダオ展」に合わせ、当資料館開館1周年記念特別講演会を実施した際のダイジェスト版を作成し、企画展示室にて上映した。また「日本人と新世界」講演録を作成し、来館者へ無料配布した。

公開講座1 「教育用素材・映像上映会」

日時：11月13日（日）14:00～16:00

講師：スティーブ・ナガノ氏、パトリシア・ナガノ氏（NCRR 理事）

聞き手：糸井輝子（白百合女子大学教授）

通訳：田嶋宏子（白百合女子大学准教授）

上映作品：“Stand Up For Justice”—The Ralph Lazo Story—

概要：この作品は第二次世界大戦中のアメリカにおける日系人強制収容に対する補償を求めて1980年に設立されたNCRR（Nikkei for Civil Rights and Redress：公民権と補償のための日系）が、第二次世界大戦中の日系人強制収容をテーマに制作した、実話に基づく作品である。上映会開催にあたり、作品の制作・普及活動に深く関わっているナガノご夫妻を招き、映画の企画制作にかけた想い、そして映像教材としての活用法をお話いただいた。



2. 情報システム

1) 情報展示ネットワークプロジェクト（情報展示）コンテンツ拡充

(1) ペルー日本人移住史料館サイト

日本人移住 80 周年にあたる昭和 54 年（1979 年）に、記念事業のひとつとしてリマ市に建設されたペルー日本人移住史料館のデジタルサイト。スペイン語ページは、全てのコンテンツを掲載。日本語、英語サイトについては一部を、10 月 25 日に一般公開した。

URL: <http://dms-apjmuseo.eg.jomm.jp/top.html> (Español/スペイン語)

<http://dms-apjmuseojp.eg.jomm.jp/top.html> (Japanese/日本語)

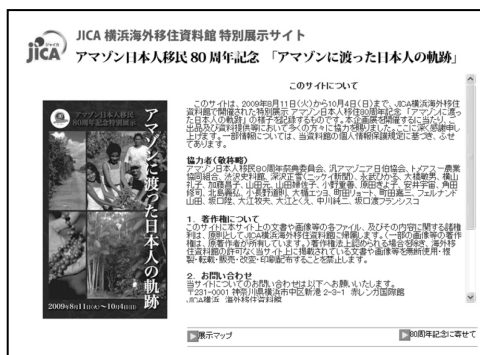
<http://dms-apjmuseoen.eg.jomm.jp/top.html> (English/英語)



(2) 「アマゾンに渡った日本人の軌跡」特別展示サイト

2009 年 8 月 11 日（火）から 10 月 4 日（日）まで、JICA 横浜海外移住資料館で開催された特別展示 アマゾン日本人移住 80 周年記念 「アマゾンに渡った日本人の軌跡」の展示内容を記録するものである。展示品等を紹介する内容で、9 月 13 日に一般公開した。

URL: <http://www.jomm.jp/amazon/index.html>



2) 情報検索システム

(1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。平成 23 年度末時点登録数：39,318 件（うち図書類：31,097 件、標本類ほか：8,221 件）。

URL: <http://search.jomm.jp/>

(2) シソーラスプロジェクト

情報検索システムでの検索効率向上を目的とし、海外移住に特化した類義語辞典の充実を図った。キーワードリストから類義語のグループを作成し、随時情報検索システムに投入した。平成 23 年度末時点登録数：34,237 グループ（203,950 語句、一般的な読替え語句含む）。

3) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ

(1) 移住資料所蔵関係機関情報

国内および海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。11 月 30 日に公開し、3 月末現在の機関情報件数は 18 件。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等のご協力をいただき、順次追加していく予定。

URL: <http://www.jomm.jp/shozokikan/index.html>



(2) JICA 横浜 海外移住資料館 研究紀要

当資料館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、平成 18 年より刊行している「研究紀要」について、PDF 版を製作し、当資料館 Web ページにて、4 月 2 日に公開した。3 月末現在、研究紀要 1 から 5 まで公開されており、以降、発行のたびに順次公開を進めていく予定。

URL: <http://www.jomm.jp/kiyo/index.html>



3. 資料等情報整備

1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集を行った。資料受入は 769 件。登録総件数は 40,902 件。

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
寄贈	34	93	15	34	176
購入	218	3	4	30	255
取得	135	92	30	0	257
移管	2	47	0	0	49
寄託	0	32	0	0	32
受入合計	389	267	49	64	769

2) 資料の整理

(1) 移住申込書整理作業

旧海外移住センター所蔵移住申込書について、柳田学術委員の指導の下、ファイル解体、データシート作成、挿入作業、データシート記入、スキャニング等の整理作業を行い、11 月で作業を終了した。

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
ファイル解体	231	330	17	—	578
データシート作成	228	333	17	—	578
挿入作業	228	333	17	—	578
データシート記入	270	418	565	—	1,253
スキャン(件数)	437	379	273	—	1,089
スキャン(ファイル数)	5,565	5,155	2,519	—	13,239

(2) 図書資料等整理

登録済み図書資料を対象とした書誌情報の追加入力を行った (7,101 件)。

4. 教育普及活動

1) 教育プログラムの概要

海外移住資料館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりが移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような 21 世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

【学習活動の手引き】 この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示および各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。	
【移民カルタ】 日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。本教材は外部への貸出を行っている。	
【紙芝居】 絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全 4 種類あり、外部への貸出を行っている。 (上段左) 海を渡った日本人 (上段右) カリナのブラジルとニッポン (下段左) ハワイに渡った日系移民 (下段右) 弁当からミックスプレートへ	

【いみんトランク】

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸出している。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車（画像・トピックシート有）
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート（トピックシート有）
- ・移住斡旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・アマゾンでも栽培されている野菜
- ・アマゾンや日系人の貢献に関する情報（資料）
- ・アマゾンを守るエコ農法（朝日新聞記事）
- ・アマゾン移住に関する概要・年表（資料）
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ（トピックシート有）（※）
- ・スパムセット
- ・Tシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
- ・ブラジルの和菓子（まんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、もち、金澤製菓画像。トピックシート有）（※）
- ・ブラジル南米神宮のお守り（南米神宮画像、トピックシート有）（※）
- ・外国人登録者数推移（資料）
- ・世界地図
- ・ハワイのビッグファミリー（画像）

これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。



【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】



【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【パールハーバー当日の新聞】



【ブラジルの和菓子】

日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。

-

実際にブラジルへ移住した人々のインタビューを編集したもの、日本人のアマゾン移住に関連するものなど、移住に関する映像教材。以下5種類があり、外部への貸出も行っている。

- 子どもたちを展示資料へ導き、作業を通して展示のねらいにあった見学を支援するための学習教材。これら学習シートの問いに答えながら見学することにより、海外移住の歴史や、日本人移住者の努力、貢献などを学ぶことができる。

海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用していく。

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、オリエンテーリングシートを使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は 111 件、総受講者数は 4,478 名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



【教育プログラム実績】

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
件数	33	26	35	17	111
総受講者数	1,397	870	1,391	820	4,478

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

【教育プログラム受講教育機関】

(1) 第 1 四半期：

(**中学校**) 千葉縣市原市立五井中学校、横浜市立浦賀中学校、横浜市立潮田中学校、平塚市立江陽中学校、平塚市立浜岳中学校、横須賀市立武山中学校、横浜女学院中学校、平塚市立金旭中学校、青森市立浅虫中学校 (**高等学校**) 神奈川県立大和西高等学校、鶴沼高等学校、東京都立野津田高等学校、関東学院高校、横浜市立金沢高等学校、横浜市立横浜商業高等学校国際課、神奈川県立川崎工科高校、さいたま市立浦和高等学校、千葉縣市原中央高等学校、神奈川県立清陵総合高等学校、神奈川県立相原高等学校、(**大学等**) 日本大学国際関係学、大妻女子大学、東京都市大学、横浜市立大学看護学科、共立女子大学国際学部、恵泉女学園大学、神奈川県立保健福祉短期大学、横浜国立大学、拓殖大学大学院商学研究科 (**その他**) 警察大学校国際警察センター語学研修課、日本語学校生徒研修第一陣、君津市国際交流協会

(2) 第 2 四半期：

(**小学校**) 横須賀市立根岸小学校、横浜市立六ツ川西小学校、横浜市立深谷台小学校 (**中学校**) 仙台市立山田中学校、橘学苑中学校、関東学院六浦中学校、岩手県宮古市立川井中学校 (**高等学校**) KTC 中央高等学院横浜キャンパス、東京都立田柄高等学校、神奈川県立大磯高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、東京都立大島海洋国際高等学校、清泉女学院高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立桜陽高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、茨城県古河第一高等学校、横浜市立本郷特別支援学校 (**大学等**) 玉川大学、学習院大学、大東文化大学、松陰大学 YIC 連携講座、(**その他**) フェリス女学院大学ボランティアセンター、S-F Learning、藤沢市小学校研究会(国際教育部)

(3) 第 3 四半期：

(**小学校**) 横浜市立帷子小学校、横浜市立並木第 4 小学校、横浜市立いちょう小学校、横浜市立浜小学校、横浜市立洋光台第 1 小学校、横浜市立獅子ヶ谷小学校、横浜市立港南台第 2 小学校 (**中学校**) 逗子開成中学校、横浜市立末吉中学校 (**高等学校**) 神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立大師高等学校、神奈川県立横浜緑園総合高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、静岡県立御殿場南高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、神奈川県立横浜平沼高等学校、玉川聖学院、橘学苑高等学校、川崎市立橘高等学校、神奈川県立川崎高等学校、神奈川県立氷取沢高等学校 (**大学等**) 明治学院大学国際学部、玉川大学教育学部、共立女子大学家政学部、日本大学通信教育部、共立女子大学国際学部、恵泉女学園大学、聖和学園短期大学、東洋英和女学院大学 (**その他**) 日本ボーイスカウト東京連盟足立第 4 団カブスカウト隊、綾瀬市教育研究所適応指導教室、東京ランゲージセンター

(4) 第 4 四半期：

(小学校) 潮田小学校国際教室(中学校) 横浜市立西谷中学校、大田区立蒲田中学校、町田市立町田第三中学校、横浜市立平楽中学校(高等学校) 横須賀学院高等学校、川崎高等学校、クラーク記念国際高校厚木校、法政大学第2高等学校、栄光学園高等学校、クラーク国際記念高校(所沢キャンパス)、東京都立つばさ総合高等学校、筑波大学付属視覚特別支援学校(大学等) 横浜市立大学連携講座、獨協大学法学部、獨協大学外国語学部(その他) 日本語学校生徒研修第二陣

【プログラム例 大学生向け (2 時間)】

- ①日本人の海外移住史概要
- ②在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
- ③日本人海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義



【プログラム例 高校生向け (2 時間)】

- ①日本人の海外移住について解説
- ②ハワイと日系人に関する概要説明
- ③移住の歴史と在日日系人について講義
- ④オリエンテーリングシートを活用した資料館見学

【プログラム例 中学生向け (1.5 時間)】

- ①日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
- ②オリエンテーリングシートを活用した資料館見学



【プログラム例 小学生向け (30 分～1 時間)】

- ①カルタで宝探し(カルタにある資料を探し解説を受ける)
- ②ペルー、沖縄移民に関する講義

3) ボランティア管理運営

(1) ボランティア活動の概要

当資料館では、以下の業務をボランティアが実施している。

①展示案内ボランティア活動(ガイドボランティア)

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。平成 23 年度末時点で、登録者数は 21 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

- ・第 1 四半期：290 人配置 (76 開館日、平均 3.8 人配置)
- ・第 2 四半期：266 人配置 (78 開館日、平均 3.4 人配置)
- ・第 3 四半期：272 人配置 (76 開館日、平均 3.6 人配置)
- ・第 4 四半期：271 人配置 (77 開館日、平均 3.5 人配置)

②資料整理ボランティア活動（サポートボランティア）

当資料館のイベント開催時のスタッフとして、また収蔵資料整理業務において各種作業に携わっている。平成 23 年度末時点で、登録者数は 6 名。

(2) ボランティア研修会等の実施

当資料館では、ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施している。また、当資料館業務にボランティアとして協力される方の意見を反映し、活動を円滑に進めていくために、以下のとおり連絡会議を実施。今後の活動について意見交換を行った。平成 23 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

①ボランティア研修会

- ・ ボランティア勉強会：伊藤一男コレクション資料整理状況報告
「望郷～夢見るたくわん 広告に見る『タクワン貿易』と日本文化」解説
日時：9 月 8 日（木）
担当：岡野伸治（海外移住資料館業務室室長）
参加者：12 名
- ・ カップヌードルミュージアム見学
日時：12 月 16 日（金）
担当：小嶋（海外移住資料館業務室）
参加者：11 名
- ・ 横浜開港資料館見学
日時：3 月 14 日（水）
担当：小嶋（海外移住資料館業務室）
参加者：12 名

② ボランティア連絡会議

- ・ 第 1 回 6 月 30 日実施 参加者：17 名
- ・ 第 2 回 12 月 16 日実施 参加者：13 名
- ・ 第 3 回 3 月 14 日実施 参加者：18 名

5. 広報活動

1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当資料館広報紙として「海外移住資料館だより」を、平成 23 年度は 5 回発行。巻頭特集、海外移住探検隊などの各コーナーでは、特別展示等に関わりの深い内容を取りあげ、展示及び収蔵資料を紹介するだけでなく、その他関連の話題を紹介。発行部数 10,000 部。

主な頒布先は、都道府県国際交流課および国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜および川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,500 件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

No.	発行	コンテンツ
特集号	2011 年 6 月	・ 特集：日本へ支援の手を！ ～世界中の日系人からエール続々と～ ・ 日系社会から寄せられた、たくさんの善意と義援金
22	2011 年 7 月	・ HAWAIIAN DREAM 日系二世のリビングルームから ～南信司写真展 ・ 南信司さんに聞く そもそも、どうしてハワイの日系二世を被写体に？
23	2011 年 9 月	・ 巻頭特集：望郷～夢見るたくわん 広告に見る「タクワン貿易」と日本文化 ・ 海外移住探検隊：現代版「タクワン貿易」を探ってみよう！
24	2011 年 12 月	・ 巻頭インタビュー：大城クラウディアさん ・ 海外移住探検隊：沖縄と海外移住～郷土愛で結ばれたウチナーンチュたち
25	2012 年 3 月	・ 南米の日本人移住地は今 ・ 海外移住探検隊：南米日本人移住地今昔 ～1964 から現在～



特集号

No.22

No.23

No.24

No.25

2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

(1) 広報媒体の活用

横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅ホームに電飾看板掲出(1年間)、同みなとみらい駅改札コンコース内インフォボードに広告掲出(1年間)／同馬車道駅改札コンコース内に開催広告ポスター掲出(1.5ヶ月間)／横浜市交通局観光周遊バス「あかいくつ」車内モニター広告掲出(1年間)

(2) 外部媒体への掲載

神奈川新聞／東京新聞／メトロガイド／関東レク情報／日本教育新聞／横浜ウォーカー／サンケイリビング新聞・横浜南版&横浜東版／OPEN YOKOHAMA／横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」／HAMAKARA／Mirea／アロハヨコハマ／読売新聞／朝日新聞／毎日新聞／産経新聞／FM 横浜「FUTURESCAPE」／大人のリビング／横浜ベイシティ交通マップ／鎌倉・横浜散歩／NHK 出版「やさいの時間」／旅たび東京・横浜／横浜版学習指導要領に基づく授業改善ガイド単元づくり編／ケーブルテレビ横浜／横浜ビクターズガイド／全私学新聞／東京散策乗物ガイド／移動教室年鑑

3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館常設展示および企画展示、特別展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った((NHK 横浜支局、TBS ラジオ、TVK、横浜ウォーカー、東京一週間、シティリビング、リビング横浜東、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、全私学新聞、各種イベント広報 web サイト等))。また近隣商業施設等と連携し、当資料館での特別展示告知依頼を実施した。

4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は海外移住資料館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信、モニタリング等となっている。情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、平成 23 年度は計 10 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、イベント開催等に併せて随時号外を配信している。会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、平成 23 年度末時点で、友の会会員は 482 名(DM 会員: 118 名、メール会員: 364 名)となった。

6. 運営委員会及び学術委員会

1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置。平成 22 年度は開催実績なし。

【平成 23 年度 運営委員】

運営委員長	吉浦伸二	JICA 横浜所長
学術委員長	飯野正子	津田塾大学学長
委員	桑井輝子	白百合女子大学教授
	杉下恒夫	茨城大学教授
	中牧弘允	国立民族学博物館教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員
	小林正博	JICA 中南米部部長
	渡邊正人	JICA 総務部部長
	早瀬隆昌	JICA 国内事業部部長

2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、平成 18 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）、JICA 横浜市民参加協力課課長（海外移住資料館運営担当部署）により構成される。

【平成 23 年度 学術委員会開催】

- ・ 第 1 回学術委員会（7 月 25 日）
- ・ 第 2 回学術委員会（10 月 6 日）
- ・ 第 3 回学術委員会（12 月 22 日）
- ・ 第 4 回学術委員会（1 月 23 日）
- ・ 第 5 回学術委員会（3 月 26 日）

【平成 23 年度 学術委員】

学術委員長	飯野正子	津田塾大学学長、海外移住資料館運営委員
委員	石川友紀	琉球大学名誉教授
	桑井輝子	白百合女子大学教授、海外移住資料館運営委員
	島田法子	日本女子大学教授
	中牧弘允	国立民族学博物館教授、海外移住資料館運営委員
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶応義塾大学教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員、海外移住資料館運営委員
	吉浦伸二	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）
	米林徳人	JICA 横浜市民参加協力課課長

3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の3プロジェクトが、平成21年度より実施されており、本年度は3年目で最終年度を迎えた。学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

(1) 海外移住資料館所蔵文献資料の拡充と学術的活用の探求

概要：海外移住資料館収蔵資料を学術的研究に資するための資料の整理・利用方法を探求し、その結果を助言・提案する。同時に内外にある移民資料の情報を収集・整理し、海外移住資料館の持つ情報の質の向上を図る。海外移住資料館の文献資料活用に関しては、事例的テーマとして「短詩型文学」にかかる文献資料を選択し、整理・利用方法を探求し、結果を助言・提案する。

【プロジェクトリーダー：桑井輝子（白百合女子大学教授）】

(2) ブラジル日系人日本語学習のための移民カルタ教材の開発と実践

概要：ブラジルの日本語学校及び移民系博物館と連携し、ブラジルの日本語学習者のための移民カルタ教材を開発し、教育現場においてそれを活用した実践を行い、その意義と可能性を検証する。

【プロジェクトリーダー：森茂岳雄（中央大学教授）】

(3) 経済不況下における在日日系ブラジル人の実態および社会統合への課題

概要：日系ブラジル人の研究は、「定住」をキーワードに今後のあり方が研究され、第一世代は今の働き方、第二世代は教育問題、定住化現象での社会への参画・社会統合が重要な問題と認識されていたが、今日の急激な経済不況により、職住を失った日系ブラジル人が大量に発生し、このような前提を一気に崩してしまった。このような社会変革のなかでの日系ブラジル人の実態を把握し、今後の展望を検証する。また、現在の厳しいなかにおける定住の場合の社会統合への課題を再度検証する。

【プロジェクトリーダー：山本かほり（愛知県立大学准教授）】

4) 研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、研究紀要第6号を発行した(2012年3月発行)。論文題目等は以下のとおり。

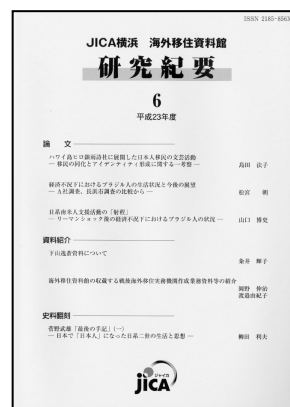
『研究紀要 第6号』

【論文】

ハワイ島ヒロ銀雨詩社に展開した日本人移民の文芸活動
— 移民の同化とアイデンティティ形成に関する一考察 —
日本女子大学教授 島田法子

経済不況下におけるブラジル人の生活状況と今後の展望
— A社調査、長浜市調査の比較から—
愛知県立大学准教授 松宮 朝

日系南米人支援活動の「射程」— リーマンショック後の経済不



況下におけるブラジル人の状況 —
名古屋大学特任講師 山口博史

【資料紹介】

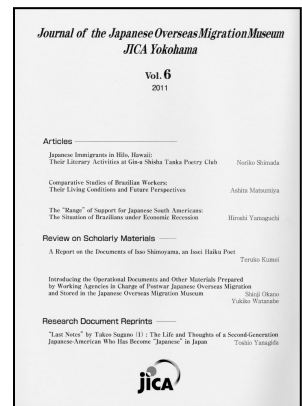
下山逸蒼資料について
白百合女子大学教授 糸井輝子

海外移住資料館の収蔵する戦後海外移住実務機関作成業務資料等の紹介

海外移住資料館業務室 岡野伸治、渡邊由紀子

【史料翻刻】

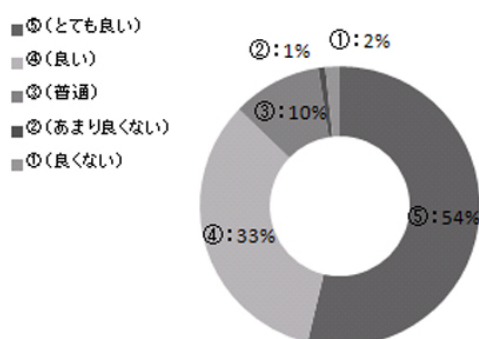
菅野武雄「最後の手記」(一)
— 日本で「日本人」になった日系二世の生活と思想 —
慶應義塾大学教授 柳田利夫



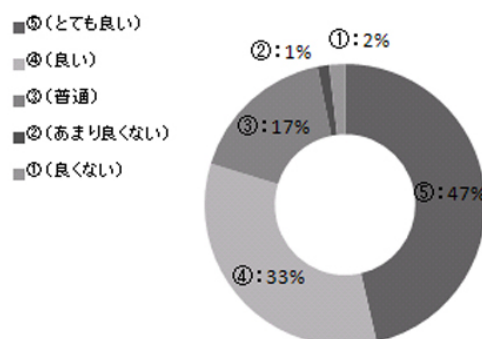
7. アンケート調査

当資料館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 258 件。5 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」をあわせた回答が全体の 80%以上を占め、おおむね良好な回答を得た。

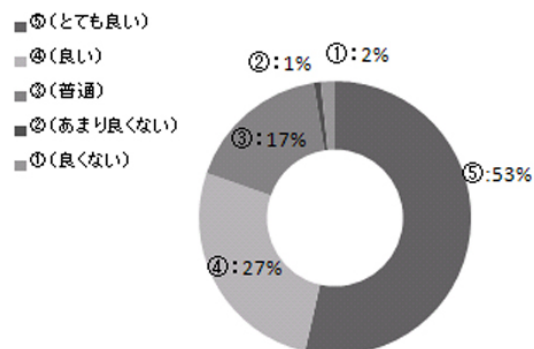
展示の内容



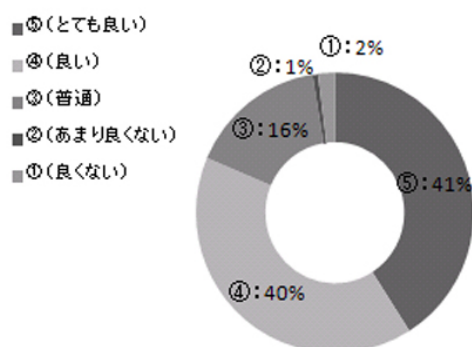
展示ガイドによる展示解説



受付の対応



海外資料館だよりの記事内容について



8. 各種実績等

1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

平成 21 年度より、当資料館が所有する資料を活用し、絵葉書 10 種、ストラップ、移住船模型を順次販売してきたが、平成 23 年度 7 月より、国旗缶バッジ（当資料館で扱っている国）の販売を開始した。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	合計
絵はがき（10 種）※1	284	236	261	781
ストラップ（オリジナル・十二支）※2	—	375	484	859
移住船模型※3	—	9	24	33
国旗缶バッジ※4	—	—	339	339

※1：絵はがきは、平成 21 年 10 月 1 日より販売開始。

※2：ストラップは、平成 22 年 7 月 15 日より販売開始。収益はエクアドル国マンタ市託児所の子ども達の食事代として寄付。

※3：移住船模型は、平成 22 年 10 月 1 日より販売開始。

2) 地方自治体が行う多文化共生社会の実現に向けた取組への協力

横浜市経済局が行う、管理職者が対象の「人権研修」実施の依頼があり、8 月 16 日、及び 9 月 15 日に 2 回実施。またこれに準じた内容の、管理職以外の一般職員の方を対象とした研修を 1 月 24 日に実施。これら研修においては、海外移住資料館見学を軸に、移住者/日系人の歴史背景や、在日「日系」南米人の現況などを説明。第 1 回（8 月 16 日開催）の高評価が、第 2 回（9 月 15 日）につながり、またこれらが一般職員向け研修（1 月 24 日）に繋がったもので、横浜市経済局が行った受講者アンケートの結果も、次年度も続けての開催を望む声などが圧倒的に高くなった。昨年度の鶴見区職員向けの研修以来、JICA 横浜センター及び海外移住資料館の存在意義・利用価値について、自治体からの評価が定着してきているものとみられる。

3) 各種実績

平成 23 年度業務実績一覧

2011.4～2012.3

常設展示スペース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数	1,783	2,550	2,166	2,212	2,528	2,383	5,208	2,461	2,219	1,935	2,146	2,640	30,231
(前年同比)	86%	74%	79%	130%	79%	86%	216%	137%	121%	109%	107%	354%	114%
一般	1336	1949	1571	1838	2194	2049	4496	2038	2001	1615	1846	2229	25,162
学校関係	447	601	595	374	334	334	712	423	218	320	300	411	5,069
15歳未満	106	510	320	143	438	324	1492	291	272	272	306	186	4,660
15歳以上	1677	2040	1846	2069	2090	2059	3716	2170	1947	1663	1840	2454	25,571
個人	1269	1745	1362	1736	2040	1992	4299	1821	1899	1497	1674	2017	23,351
団体	514	805	804	476	488	391	909	640	320	438	472	623	6,880
※開館からの累計:													265,841

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	4	15	14	12	8	6	15	13	7	7	4	6	111
実施対象人数	417	515	465	367	251	252	896	360	135	226	240	354	4,478

照会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	19	20	25	20	31	28	22	20	20	25	31	19	280
JICA	1	2	5	6	1	1	2	2	3	3	2	2	30
教育機関	2	1	2	2	7	3	4	4	2	2	7	3	39
国内団体	2	1	1	0	2	2	0	2	0	2	1	4	17
個人	12	11	12	9	16	18	14	6	10	13	14	6	141
自治体	0	3	0	1	0	3	0	2	2	1	3	1	16
制作会社・マスコミ	2	2	5	1	5	1	2	3	3	4	4	3	35
国外団体	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2

図書資料室(海外移住)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数	173	229	222	130	173	143	193	181	160	196	179	208	2,187
(前年同比)	93%	118%	92%	79%	85%	85%	107%	123%	103%	88%	111%	136%	100%
一般	31	59	86	36	42	54	74	67	49	47	55	69	669
マスコミ等	5	10	10	4	23	7	12	12	5	5	6	14	113
JICA関係(業務)	81	60	105	70	103	73	95	94	82	97	92	81	1,033
JICA関係(研修)	56	100	21	20	5	9	12	8	24	47	26	44	372

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	245	59	85	97	100	70	14	5	30	53	0	11	769
(うち取得)	8	53	74	53	14	25	8	0	22	0	0	0	257
(うち購入)	218	0	0	0	2	1	0	4	0	19	0	11	255
(うち寄贈)	19	4	11	44	37	12	6	1	8	34	0	0	176
(うち移管)	0	2	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0	49
(うち既存資料)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち寄託)	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	32
所蔵登録総件数	40,378	40,437	40,522	40,619	40,719	40,789	40,803	40,808	40,838	40,891	40,891	40,902	

移住申込書整理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
ファイル解体	4	152	75	231	28	71	17	0	-	-	-	-	578
データシート作成	4	152	72	234	28	71	17	0	-	-	-	-	578
挿入作業	4	152	72	234	28	71	17	0	-	-	-	-	578
データシート記入	36	152	82	147	0	271	565	0	-	-	-	-	1,253
スキャン(件数)	105	173	159	81	25	273	187	86	-	-	-	-	1,089
スキャン(画像ファイル数)	1,271	2,442	1,852	1,361	408	3,396	1,724	795	-	-	-	-	13,239

webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	9,656	10,451	10,872	11,005	11,660	10,891	10,894	10,361	10,044	10,989	11,851	12,924	131,598
(前年同比)	77%	88%	74%	101%	100%	99%	109%	97%	96%	97%	109%	125%	96%
Pages(利用数)	31,439	29,819	33,516	35,794	36,547	35,855	33,608	32,013	32,550	36,898	41,090	43,874	423,003
Files(情報提供数)	105,684	99,096	108,283	111,321	138,180	112,873	115,372	104,945	100,233	119,895	125,049	120,859	1,361,800

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	622	715	912	695	599	617	722	641	667	711	618	715	8,234
(前年同比)	91%	87%	148%	104%	109%	92%	108%	102%	118%	105%	93%	195%	111%
検索件数	734	670	1,193	608	566	562	1,263	750	692	472	624	1,007	9,141
(前年同比)	58%	83%	94%	76%	79%	48%	107%	109%	85%	56%	142%	263%	88%

JICA 横浜 海外移住資料館 館報
平成 23 年度

発 行：国際協力機構横浜国際センター
Japanese Overseas Migration Museum
海外移住資料館

発行年月：2012 年 6 月

問い合わせ先

JICA 横浜 海外移住資料館

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781

Web : <http://www.jomm.jp> E-mail : info@jomm.jp

